

**平成24年度 事務事業評価シート**

<b>事業の概要</b>	事務事業名	市営駐車場施設管理事業						担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	都市政策課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	政策推進係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		22 市街地整備		4 安全・安心な市街地を整備する					
		副目的										
	予算区分	款	8	項	4	目	3	大	4	中	1	
	根拠法令・個別計画	駐車場法、道路法、道路整備特別措置法										
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	8 %		委託	88 %			助成	4 %		
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市営駐車場4箇所の使用料収納、設備機器の保守管理・修繕等を行い、施設の利便性の向上や路上駐車未防止を行う。										
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場</li> <li>ラピオ来館者の利用が多いラピオ地下、小牧駅西、浦田の3駐車場について、効率的に運営するためラピオを管理している小牧都市開発㈱に管理委託をした。</li> <li>・小牧駅地下駐車場</li> <li>使用料収納等管理業務を社団法人愛知県シルバー人材センター連合会に委託し、設備機器の保守管理を民間に委託した。</li> <li>電気料金・上下水道使用料等の支払い、設備機器修繕を行った。</li> <li>・全般</li> <li>駐車券及び回数券の在庫管理を行い、必要に応じ印刷を行った。</li> <li>ラピオ再構築に関連し、23年度にラピオ利用に伴う無料駐車サービスの運用方法及び負担方法を変更した。</li> </ul> <p>【直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品、電気料金等(5,055千円)、印刷製本費(1,803千円)、修繕料(646千円)</li> <li>管理委託料(119,788千円)、ラピオ設備修繕負担金(5,173千円)</li> </ul> <p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場の管理を委託する。</li> <li>駐車券及び回数券の在庫管理を行い、必要に応じ印刷を行う。</li> </ul>										
受益者負担	30分100円、24時間最大1,000円、ただし、最初の30分は無料。 23年度の駐車場使用料収入総額109,373千円(減免分を含まない)											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
<b>コスト</b>	<b>費用</b>	直接経費	千円	111,123	141,952	132,466	137,805	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.70	0.70	0.50
			人件費	千円	531	3,723	3,723	2,659
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	111,654	145,675	136,189	140,464
	対前年比		%		130.4	93.4	103.1	
<b>財源</b>	一般財源		千円	-11,437	33,966	26,816	50,925	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	123,091	111,709	109,373	89,539	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	収容(能力)台数	台	目標		644	845	845
実績				644	845	845	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	年間駐車場利用台数 ※H22から駅地下を算入	千台	目標		959	992	970
実績				919	970	941	
路上駐車台数 (年4回、1時間調査の平均)	台	目標		19	18	17	17
		実績		18	17	17	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	景気低迷の影響等により成果指標である年間駐車場利用台数は減少傾向である。維持管理上の不具合は発生していない。				
		事業実施における課題等	小牧駅地下駐車場について、利用者サービスの向上及び職員人件費等のコスト低減のため、シルバー人材センター等への個別委託を改める必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	ラピオ商業施設の集客力が低下する。中心市街地における路上駐車台数が増加する。				
今後の事業の方向性		方向性の判定	現状維持				
		判定理由	施設の利便性の向上や路上駐車未防止のため、継続的に事業を行っていく必要があるため。				
		改善案等	施設を効率的に運営していく必要があるため、24年度から、ラピオ地下駐車場、小牧駅西駐車場、浦田駐車場、小牧駅地下駐車場を一括して小牧都市開発(株)に管理委託する。小牧駅地下駐車場については、平成26年10月に道路整備特別措置法の適用から外れるため、その時点で他の3駐車場と条例を1本化する。併せて、その時点から指定管理者制度を導入できるか否か検討を進める。小牧駅地下駐車場について、エレベーター等バリアフリー化改修実施を検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				